

交付運用報告書

スーパーファンド・ジャパン サブファンド・グリーン、サブファンド・グリーンC

ケイマン籍 オープンエンド契約型 外国投資信託（円建て、米ドル建て）
作成対象期間（第16期）：自 2024年1月1日 至 2024年12月31日

～ 受益者の皆様へ ～

平素は格別のご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。
当サブファンドは、オーストリア・ウィーンにて創立されたスーパーファンドグループの、外国籍公募投資信託です。
ケイマン諸島における分別ポートフォリオを運用する適用免除有限責任会社として登録され、投資会社としてのみ活動するマスターファンド及びアンダーライティング・マスターファンドへの投資を通じて、証券市場の動静から独立した投資形態を投資家の皆様に提供するために設立されました。スーパーファンドの投資顧問会社であるスーパーファンド・キャピタル・マネジメント・インクによる、トレーディング・ソフトウェアを使用した最新の取引システムに基づき、マスターファンド及びアンダーライティング・マスターファンドは運用されます。
ここに、当サブファンドの第16期の運用状況等についてご報告申し上げます。
今後とも一層のお引立てを賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

	第 16 期末							
	サブファンド・グリーン						サブファンド・グリーンC	
	円・クラス	米ドル・クラス	ゴールド 円・クラス	ゴールド 米ドル・クラス	シルバー 円・クラス	シルバー 米ドル・クラス	円・クラス	米ドル・クラス
1口あたり純資産価額	43.69円	0.49米ドル	129.50円	0.83米ドル	83.78円	0.79米ドル	33.09円	0.33米ドル
純 資 産 総 額	287百万円	71万米ドル	1,252百万円	47万米ドル	130百万円	183万米ドル	45百万円	48万米ドル
第 16 期								
騰 落 率	△11.83%	△10.91%	+16.72%	+3.75%	+8.82%	△2.47%	△19.25%	△17.50%
1口当たり分配金額	0円	0米ドル	0円	0米ドル	0円	0米ドル	0円	0米ドル

（注1）純資産総額は、1口当たり純資産価額に、当期末の発行済口数を乗じ、小数点第1位を四捨五入して計算された値を記載しており、運用報告書（全体版）に記載されているファンドの財務書類における数値と一致しない場合があります。
（注2）騰落率は、税引前の分配金（もしあれば）を分配時に再投資したものとみなして計算しています。以下同じです。
（注3）1口当たり分配金額（もしあれば）は、税引前の分配金額を記載しています。以下同じです。

その他記載事項

運用報告書（全体版）は代行協会のウェブサイト（<https://www.superfund.co.jp>）にて電磁的方法により提供しており、「ドキュメント」において閲覧及びダウンロードすることができます。

※ 当サブファンドの運用報告書（全体版）は受益者のご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

【管理会社】

スーパーファンド・ジャパン・
トレーディング（ケイマン）リミテッド

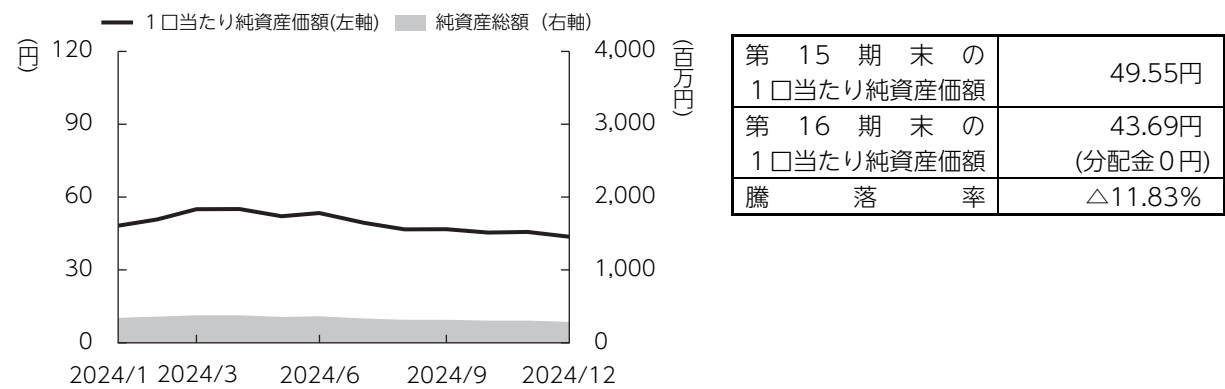
【代行協会員】

スーパーファンド・ジャパン株式会社

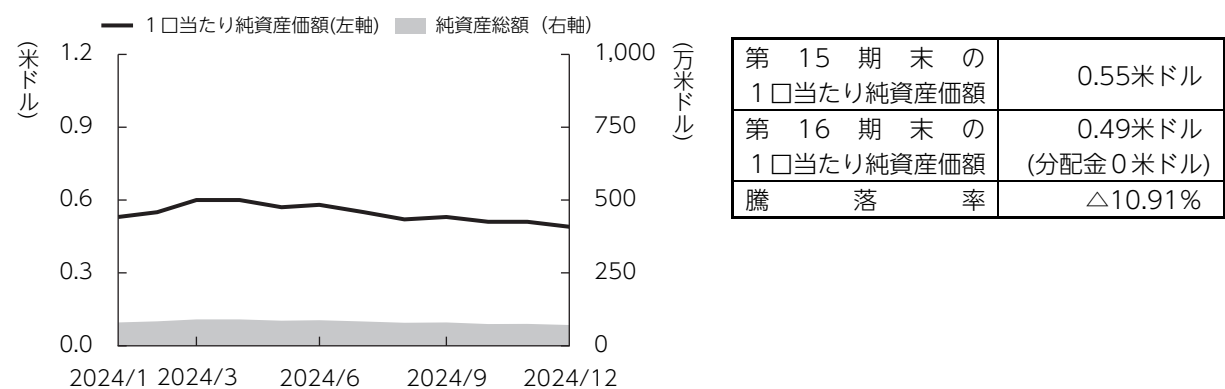
運用経過

■ 当期の1口当たり純資産価額等の推移について（2024年1月1日～2024年12月31日）

サブファンド・グリーン 円・クラス

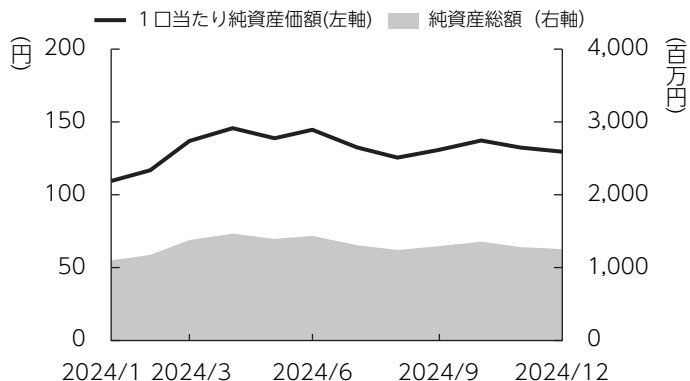


サブファンド・グリーン 米ドル・クラス



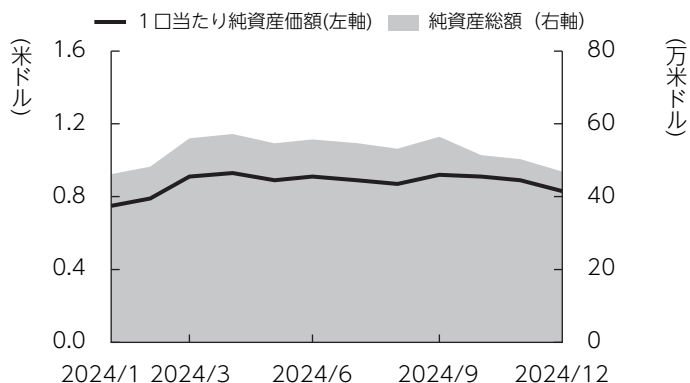
(注1) 当サブファンドについては分配金の分配を行っていないため、上表では1口当たり純資産価額のみを記載しています。
(注2) 騰落率は、第15期末の1口当たり純資産価額との比較において計算しています。
(注3) サブファンドの購入価額により課税条件は異なりますので、お客様の損益の状況を示すものではありません。
(注4) サブファンドにベンチマークは設定されておりません。

サブファンド・グリーン ゴールド円・クラス



第 15 期 末 の 1口当たり純資産価額	110.95円
第 16 期 末 の 1口当たり純資産価額	129.50円 (分配金0円)
騰 落 率	+16.72%

サブファンド・グリーン ゴールド米ドル・クラス



第 15 期 末 の 1口当たり純資産価額	0.80米ドル
第 16 期 末 の 1口当たり純資産価額	0.83米ドル (分配金0米ドル)
騰 落 率	+3.75%

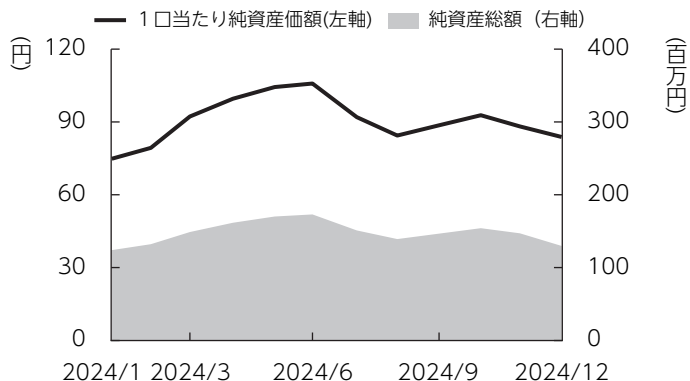
(注1) 当サブファンドについては分配金の分配を行っていないため、上表では1口当たり純資産価額のみを記載しています。

(注2) 騰落率は、第15期末の1口当たり純資産価額との比較において計算しています。

(注3) サブファンドの購入価額により課税条件は異なりますので、お客様の損益の状況を示すものではありません。

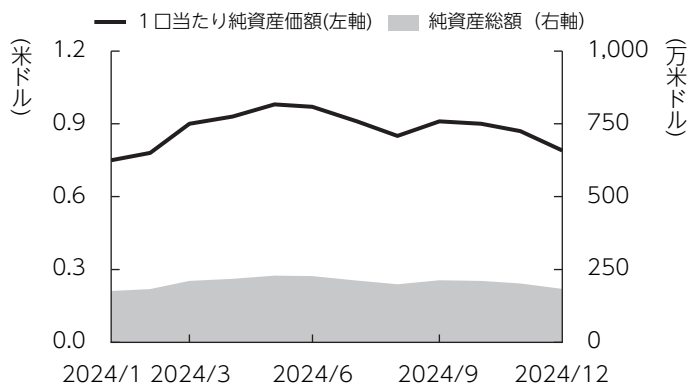
(注4) サブファンドにベンチマークは設定されておりません。

サブファンド・グリーン シルバー円・クラス



第 15 期 末 の 1口当たり純資産価額	76.99円
第 16 期 末 の 1口当たり純資産価額	83.78円 (分配金0円)
騰 落 率	+8.82%

サブファンド・グリーン シルバー米ドル・クラス



第 15 期 末 の 1口当たり純資産価額	0.81米ドル
第 16 期 末 の 1口当たり純資産価額	0.79米ドル (分配金0米ドル)
騰 落 率	△2.47%

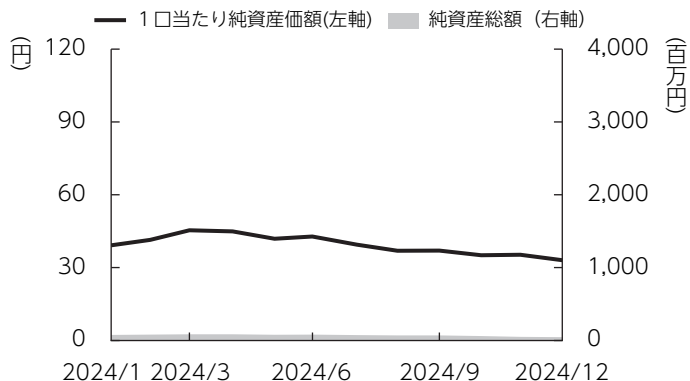
(注1) 当サブファンドについては分配金の分配を行っていないため、上表では1口当たり純資産価額のみを記載しています。

(注2) 騰落率は、第15期末の1口当たり純資産価額との比較において計算しています。

(注3) サブファンドの購入価額により課税条件は異なりますので、お客様の損益の状況を示すものではありません。

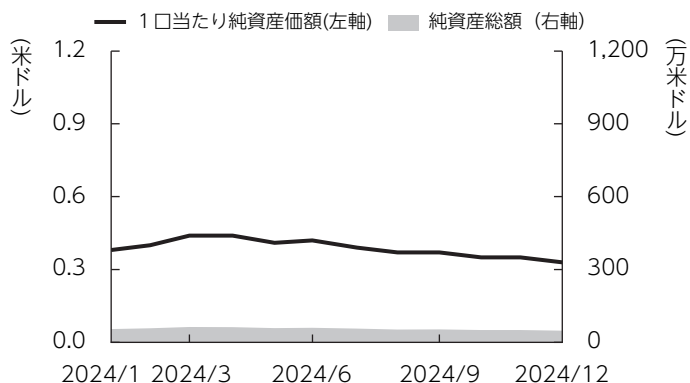
(注4) サブファンドにベンチマークは設定されておりません。

サブファンド・グリーンC 円・クラス



第 15 期 末 の 1口当たり純資産価額	40.98円
第 16 期 末 の 1口当たり純資産価額 (分配金0円)	33.09円
騰 落 率	△19.25%

サブファンド・グリーンC 米ドル・クラス



第 15 期 末 の 1口当たり純資産価額	0.40米ドル
第 16 期 末 の 1口当たり純資産価額 (分配金0米ドル)	0.33米ドル
騰 落 率	△17.50%

(注1) 当サブファンドについては分配金の分配を行っていないため、上表では1口当たり純資産価額のみを記載しています。

(注2) 騰落率は、第15期末の1口当たり純資産価額との比較において計算しています。

(注3) サブファンドの購入価額により課税条件は異なりますので、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注4) サブファンドにベンチマークは設定されておりません。

■ 1 口当たり純資産価額の主な変動要因

【円・クラス、米ドル・クラス】

実質的に投資している金融先物市場・商品先物市場における市場の変動率の上昇により、当サブファンドが採用するトレンドフォロー戦略による取引システムが、様々な指数の上昇・下降トレンドに追随することでキャピタルゲインを確保します。一方、上昇又は下降トレンドに追随した後、市場価格のトレンドが変換することによりキャピタルロスが生まれます。円建てクラスは、為替が円安に変動することでキャピタルゲインが生まれ、円高に変動することでキャピタルロスが生まれます。

【ゴールド円・クラス、ゴールド米ドル・クラス】

実質的に投資している金融先物市場・商品先物市場における市場の変動率の上昇により、当サブファンドが採用するトレンドフォロー戦略による取引システムが、様々な指数の上昇・下降トレンドに追随することでキャピタルゲインを確保します。一方、上昇又は下降トレンドに追随した後、市場価格のトレンドが変換することによりキャピタルロスが生まれます。加えて、金価格の上昇によりキャピタルゲインが生まれ、下落によりキャピタルロスが生まれます。さらに、円建てクラスは、為替が円安に変動することでキャピタルゲインが生まれ、円高に変動することでキャピタルロスが生まれます。

【シルバー円・クラス、シルバー米ドル・クラス】

実質的に投資している金融先物市場・商品先物市場における市場の変動率の上昇により、当サブファンドが採用するトレンドフォロー戦略による取引システムが、様々な指数の上昇・下降トレンドに追随することでキャピタルゲインを確保します。一方、上昇又は下降トレンドに追随した後、市場価格のトレンドが変換することによりキャピタルロスが生まれます。加えて、銀価格の上昇によりキャピタルゲインが生まれ、下落によりキャピタルロスが生まれます。さらに、円建てクラスは、為替が円安に変動することでキャピタルゲインが生まれ、円高に変動することでキャピタルロスが生まれます。

■ 費用の明細（2024年1月1日～2024年12月31日）

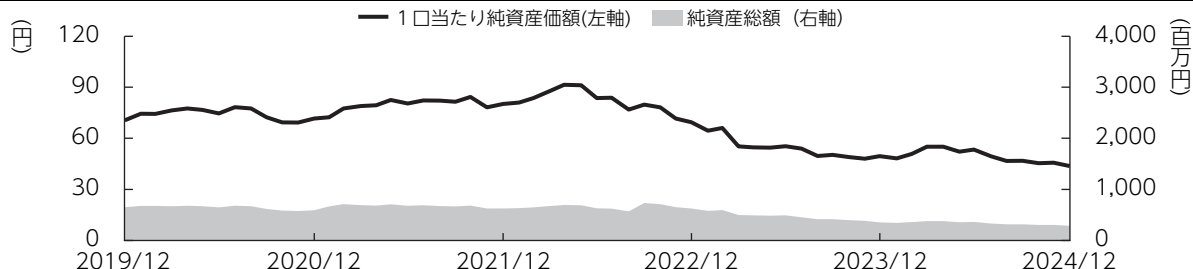
項 目		比率又は金額	項 目 の 概 要
管 理 報 酬		各サブファンドの純資産価額の年率0.10%	受託会社、事務管理会社及びカストディアンその他の者との間のやりとり、当サブファンドの活動に関連する契約の管理、申込及び償還を含む投資活動の運用管理の対価
代 行 協 会 員 報 酬		各サブファンドの純資産価額の年率0.10%	日本の法令及び日本証券業協会の規則に従い、受益者への目論見書や財務書類を送付し、純資産価額を公表する等の業務に対する報酬
受 託 会 社 報 酬		各サブファンドにつき年間11,000米ドル	信託証書に従って行う当サブファンドの受託業務に対する報酬
事 務 管 理 報 酬	当 ファ ン ド の 事 務 管 理 及 び 振 替 代 行 報 酬	サブファンド「グリーン」：年間5,400米ドル サブファンド「グリーンC」：年間5,400米ドル	各評価日における純資産価額の計算、受益権者名簿の管理、締結された申込に係る契約及び申込の受領並びに処理、電磁的方法による受益証券の発行証明及び保有報告書の作成並びに送付などの役務の対価
	年次財務諸表の作成	当ファンドにつき年間1,500米ドル	関連する規制に則した年次財務諸表（監査済み）の作成及びその補助の対価
そ の 他 の 費 用 （ 当 期 ）		0.59%	監査費用、その他信託事務の処理に要する諸費用

（注1）各報酬については、目論見書に定められている料率又は金額を記しています。「その他の費用（当期）」には運用状況等により変動するものや実費となる費用が含まれます。便宜上、当期のその他の費用の金額を当サブファンドの当期末の純資産総額で除して100を乗じた比率を表示していますが、実際の比率とは異なります。

（注2）各項目の費用は、サブファンドが組み入れている投資先ファンドの費用を含みません。

■ 最近5年間の1口当たり純資産価額等の推移について (2019年12月31日～2024年12月31日)

サブファンド・グリーン 円・クラス



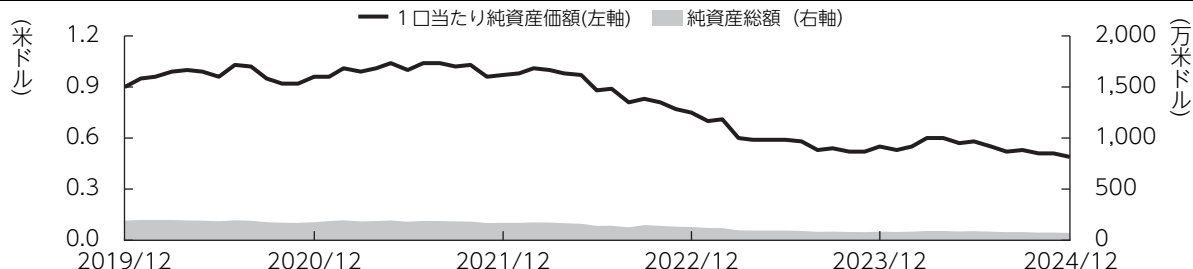
	第11期末 2019年 12月31日	第12期末 2020年 12月31日	第13期末 2021年 12月31日	第14期末 2022年 12月31日	第15期末 2023年 12月31日	第16期末 2024年 12月31日
1口当たり純資産価額(円)	70.59	71.56	80.12	69.48	49.55	43.69
1口当たり分配金額(円)	0	0	0	0	0	0
騰落率(%)	+21.06	+1.37	+11.96	△13.28	△28.68	△11.83
純資産総額(百万円)	650	591	627	626	353	287

(注1) 騰落率は、前期末の1口当たり純資産価額との比較において計算しています。なお、当サブファンドについては分配金の分配を行っていないため、上表では1口当たり純資産価額のみを記載しています。

(注2) 純資産総額は、1口当たり純資産価額に、各期末の発行済口数を乗じ、小数点第1位を四捨五入して計算された値を記載しており、運用報告書(全体版)に記載されているファンドの財務書類における数値と一致しない場合があります。

(注3) サブファンドにベンチマーク及び参考指数は設定されていません。

サブファンド・グリーン 米ドル・クラス



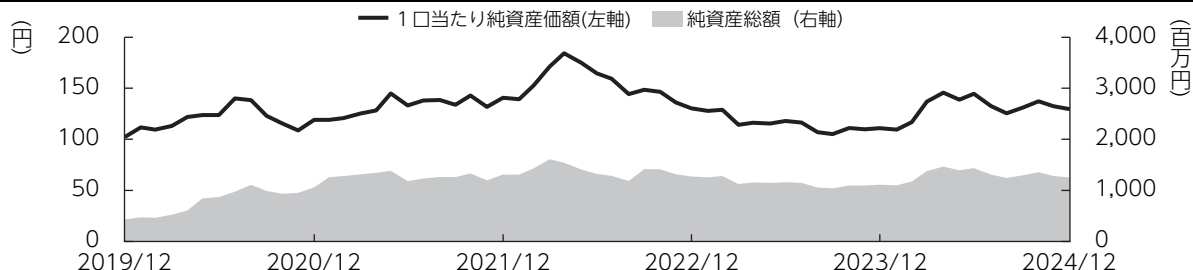
	第11期末 2019年 12月31日	第12期末 2020年 12月31日	第13期末 2021年 12月31日	第14期末 2022年 12月31日	第15期末 2023年 12月31日	第16期末 2024年 12月31日
1口当たり純資産価額(米ドル)	0.90	0.96	0.97	0.75	0.55	0.49
1口当たり分配金額(米ドル)	0	0	0	0	0	0
騰落率(%)	+21.62	+6.67	+1.04	△22.68	△26.67	△10.91
純資産総額(万米ドル)	192	176	170	129	83	71

(注1) 騰落率は、前期末の1口当たり純資産価額との比較において計算しています。なお、当サブファンドについては分配金の分配を行っていないため、上表では1口当たり純資産価額のみを記載しています。

(注2) 純資産総額は、1口当たり純資産価額に、各期末の発行済口数を乗じ、小数点第1位を四捨五入して計算された値を記載しており、運用報告書(全体版)に記載されているファンドの財務書類における数値と一致しない場合があります。

(注3) サブファンドにベンチマーク及び参考指数は設定されていません。

サブファンド・グリーン ゴールド円・クラス



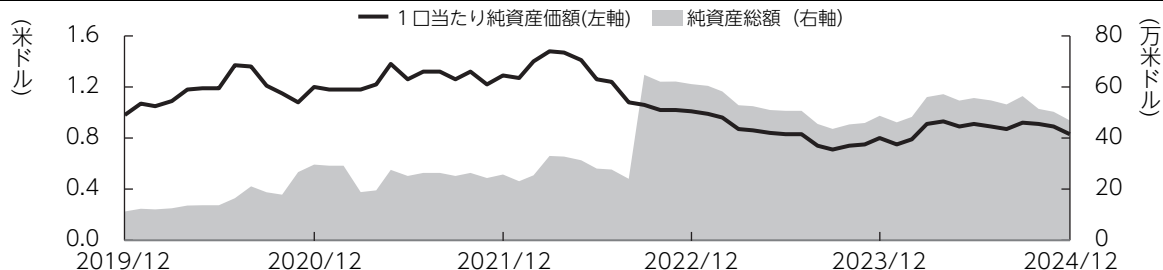
	第11期末 2019年 12月31日	第12期末 2020年 12月31日	第13期末 2021年 12月31日	第14期末 2022年 12月31日	第15期末 2023年 12月31日	第16期末 2024年 12月31日
1口当たり純資産価額(円)	102.38	118.95	140.71	130.32	110.95	129.50
1口当たり分配金額(円)	0	0	0	0	0	0
騰落率(%)	+37.57	+16.18	+18.29	△7.38	△14.86	+16.72
純資産総額(百万円)	432	1,058	1,308	1,271	1,112	1,252

(注1) 騰落率は、前期末の1口当たり純資産価額との比較において計算しています。なお、当サブファンドについては分配金の分配を行っていないため、上表では1口当たり純資産価額のみを記載しています。

(注2) 純資産総額は、1口当たり純資産価額に、各期末の発行済口数を乗じ、小数点第1位を四捨五入して計算された値を記載しており、運用報告書(全体版)に記載されているファンドの財務書類における数値と一致しない場合があります。

(注3) サブファンドにベンチマーク及び参考指数は設定されていません。

サブファンド・グリーン ゴールド米ドル・クラス



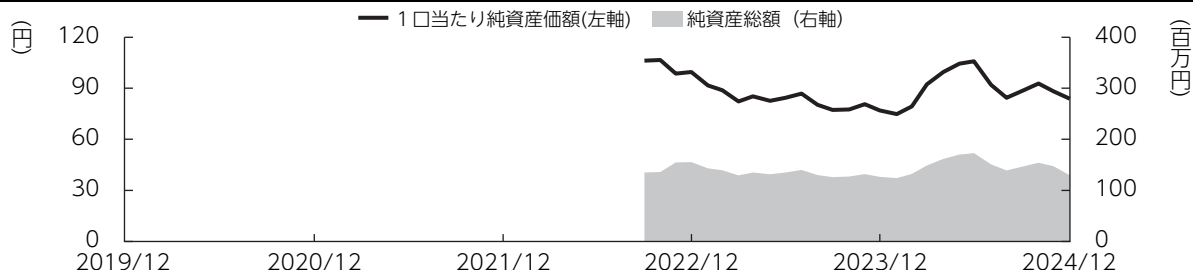
	第11期末 2019年 12月31日	第12期末 2020年 12月31日	第13期末 2021年 12月31日	第14期末 2022年 12月31日	第15期末 2023年 12月31日	第16期末 2024年 12月31日
1口当たり純資産価額(米ドル)	0.98	1.20	1.29	1.01	0.80	0.83
1口当たり分配金額(米ドル)	0	0	0	0	0	0
騰落率(%)	+40.00	+22.45	+7.50	△21.71	△20.79	+3.75
純資産総額(万米ドル)	11	30	24	61	49	47

(注1) 騰落率は、前期末の1口当たり純資産価額との比較において計算しています。なお、当サブファンドについては分配金の分配を行っていないため、上表では1口当たり純資産価額のみを記載しています。

(注2) 純資産総額は、1口当たり純資産価額に、各期末の発行済口数を乗じ、小数点第1位を四捨五入して計算された値を記載しており、運用報告書(全体版)に記載されているファンドの財務書類における数値と一致しない場合があります。

(注3) サブファンドにベンチマーク及び参考指数は設定されていません。

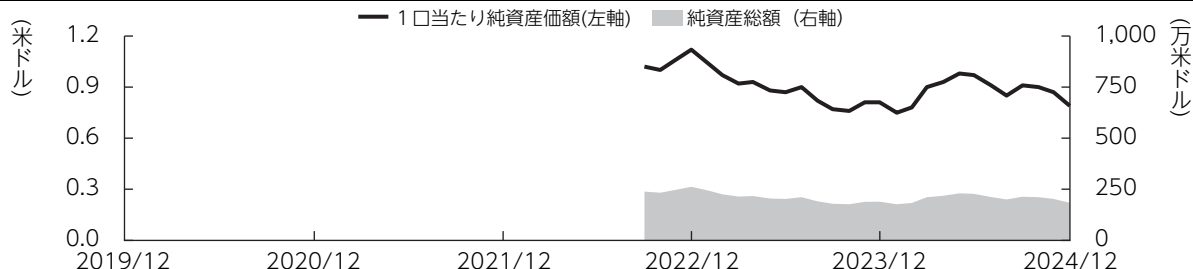
サブファンド・グリーン シルバー円・クラス (ファンドの運用は2022年9月から開始)



	シルバー円・クラス設定時 2022年 9月1日	第14期末 2022年 12月31日	第15期末 2023年 12月31日	第16期末 2024年 12月31日
1口当たり純資産価額(円)	100	99.55	76.99	83.78
1口当たり分配金額(円)	—	0	0	0
騰落率(%)	—	△0.45	△22.66	+8.82
純資産総額(百万円)	127	155	127	130

- (注1) 騰落率は、前期末の1口当たり純資産価額との比較において計算しています。なお、当サブファンドについては分配金の分配を行っていないため、上表では1口当たり純資産価額のみを記載しています。
- (注2) 純資産総額は、1口当たり純資産価額に、各期末の発行済口数を乗じ、小数点第1位を四捨五入して計算された値を記載しており、運用報告書(全体版)に記載されているファンドの財務書類における数値と一致しない場合があります。
- (注3) サブファンドにベンチマーク及び参考指数は設定されていません。
- (注4) 当クラスは2022年9月より運用が開始されたため、2022年8月以前の情報がありません。そのため、第14期末時点の騰落率につきましては、クラス設定時との比較において計算しています。

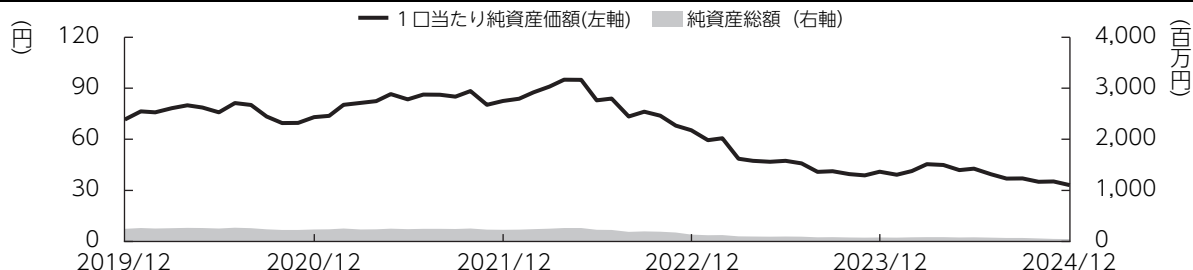
サブファンド・グリーン シルバー米ドル・クラス (ファンドの運用は2022年9月から開始)



	シルバー米ドル・クラス設定時 2022年 9月1日	第14期末 2022年 12月31日	第15期末 2023年 12月31日	第16期末 2024年 12月31日
1口当たり純資産価額(米ドル)	1.00	1.12	0.81	0.79
1口当たり分配金額(米ドル)	—	0	0	0
騰落率(%)	—	+12.00	△27.68	△2.47
純資産総額(万米ドル)	233	262	189	183

- (注1) 騰落率は、前期末の1口当たり純資産価額との比較において計算しています。なお、当サブファンドについては分配金の分配を行っていないため、上表では1口当たり純資産価額のみを記載しています。
- (注2) 純資産総額は、1口当たり純資産価額に、各期末の発行済口数を乗じ、小数点第1位を四捨五入して計算された値を記載しており、運用報告書(全体版)に記載されているファンドの財務書類における数値と一致しない場合があります。
- (注3) サブファンドにベンチマーク及び参考指数は設定されていません。
- (注4) 当クラスは2022年9月より運用が開始されたため、2022年8月以前の情報がありません。そのため、第14期末時点の騰落率につきましては、クラス設定時との比較において計算しています。

サブファンド・グリーンC 円・クラス



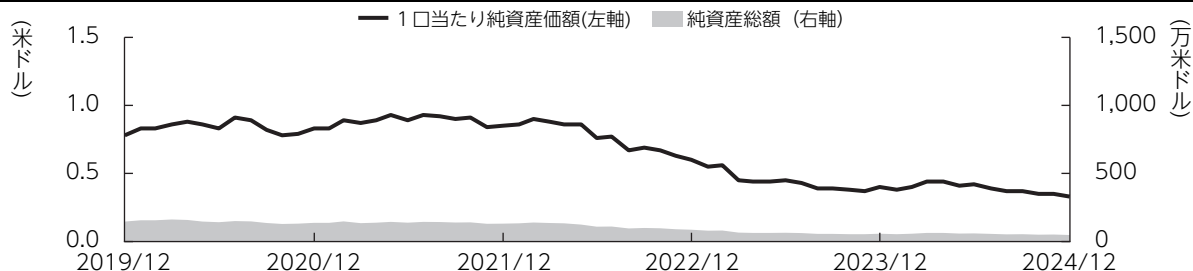
	第11期末 2019年 12月31日	第12期末 2020年 12月31日	第13期末 2021年 12月31日	第14期末 2022年 12月31日	第15期末 2023年 12月31日	第16期末 2024年 12月31日
1口当たり純資産価額(円)	71.63	72.97	82.54	65.30	40.98	33.09
1口当たり分配金額(円)	0	0	0	0	0	0
騰落率(%)	+26.91	+1.87	+13.11	△20.89	△37.24	△19.25
純資産総額(百万円)	245	235	228	135	79	45

(注1) 騰落率は、前期末の1口当たり純資産価額との比較において計算しています。なお、当サブファンドについては分配金の分配を行っていないため、上表では1口当たり純資産価額のみを記載しています。

(注2) 純資産総額は、1口当たり純資産価額に、各期末の発行済口数を乗じ、小数点第1位を四捨五入して計算された値を記載しており、運用報告書(全体版)に記載されているファンドの財務書類における数値と一致しない場合があります。

(注3) サブファンドにベンチマーク及び参考指数は設定されていません。

サブファンド・グリーンC 米ドル・クラス



	第11期末 2019年 12月31日	第12期末 2020年 12月31日	第13期末 2021年 12月31日	第14期末 2022年 12月31日	第15期末 2023年 12月31日	第16期末 2024年 12月31日
1口当たり純資産価額(米ドル)	0.78	0.83	0.85	0.60	0.40	0.33
1口当たり分配金額(米ドル)	0	0	0	0	0	0
騰落率(%)	+27.87	+6.41	+2.41	△29.41	△33.33	△17.50
純資産総額(万米ドル)	147	137	132	87	57	48

(注1) 騰落率は、前期末の1口当たり純資産価額との比較において計算しています。なお、当サブファンドについては分配金の分配を行っていないため、上表では1口当たり純資産価額のみを記載しています。

(注2) 純資産総額は、1口当たり純資産価額に、各期末の発行済口数を乗じ、小数点第1位を四捨五入して計算された値を記載しており、運用報告書(全体版)に記載されているファンドの財務書類における数値と一致しない場合があります。

(注3) サブファンドにベンチマーク及び参考指数は設定されていません。

■ 投資環境について

2024年、世界の株式市場は、数多くの政治的イベントや経済的变化によって目まぐるしい動きの中にありました。注目度が高まった、インドネシア、インド、米国の選挙でしたが、特にドナルド・トランプ氏の再選は財政刺激策への期待を高めました。米連邦準備制度理事会（FRB）は3回の利下げを実施し、市場の変動性を増加させました。一方、日本では17年ぶりの利上げが市場を揺るがしました。

2024年の幕開け、米国株式市場は大きく上昇し、複数の指数が史上最高値を記録しました。その背景としては、インフレの鈍化と、大手ハイテク株の好調な四半期の業績が投資家の楽観論を後押ししたことが挙げられます。その影響は世界市場にも波及しました。一方、欧州市場でも、堅調な経済成長に支えられ、多くの指数が値上がりしました。イギリスでは、逆風が吹く中でも国内総生産（GDP）成長率0.70%という結果を受けて大きく反発しました。日本市場では、円安にもかかわらず、高い企業収益性に支えられて数年ぶりに指数が最高値を記録しました。しかし、年央には日本銀行の利上げがフラッシュクラッシュを引き起こし、日本の株式市場は一時20%下落しましたが、その後12%回復しました。一方、中国市場は1年を通じて圧迫され続けました。これは、弱い景気指標、不動産リスク、及び限られた刺激策が株価に影響を与えたためです。ユーロ圏では経済が大幅に冷え込み、特に製造業の勢いが失われました。9月までは、欧州での前倒し選挙や米国大統領選挙活動の進展といった政治的不確実性が、著しく高い変動をもたらしました。その後、コロナ以来初となる米連邦準備制度理事会（FRB）の「超大型利下げ」の実施により状況は落ち着きましたが、2025年に利下げが少なくなる可能性が示唆されると、年末には再び売りが膨らみました。それでもなお、米国株式市場は高い水準で年を終えました。これは、トランプ氏の勝利後に期待された財政刺激策によるものです。一方、欧州株式市場は不況懸念や政治的不安定の影響を受け続けました。欧州中央銀行（ECB）は利下げを行い、さらに追加的な利下げの余地があることを示唆しました。

2024年第1四半期、債券市場は急速な利下げを期待し緊張状態にありました。しかし、継続するインフレ圧力により、米連邦準備制度理事会（FRB）、欧州中央銀行（ECB）、イングランド銀行（BoE）は慎重な姿勢を取らざるを得ませんでした。この慎重な姿勢が債券価格と利回りの大幅な変動を引き起こしました。

3月には、日本銀行（BoJ）が17年ぶりに政策金利を0%から0.1%に引き上げるという歴史的な動きを見せるとともに、長期金利のイールドカーブコントロールを放棄しました。その結果、円安の中で日本の10年物国債利回りが10年以上ぶりの高水準に達しました。年後半も市場環境は不安定なままでした。世界的な利下げサイクルの始まりと、米国大統領選挙の結果が市場のボラティリティを高める要因となりました。トランプ氏の再選はインフレ懸念を煽り、大規模な売りが発生しました。これに対し、米連邦準備制度理事会（FRB）は3回の利下げを実施しました。9月には50ベースポイントという積極的な利下げを行い、その後2回の利下げを経て最終的に4.25%～4.50%の水準となりました。この影響で、米国債の利回りは大幅に変動しました。

2024年の商品市場は特にエネルギー部門が注目され、緊張感に満ちた様相を呈しました。原油価格は当初、80米ドル以上に上昇しましたが、その要因として中東における地政学的緊張、スエズ運河の封鎖、ロシアのインフラへのドローン攻撃が挙げられます。これに加えて、OPECプラスによる減産や、サウジアラビアの1日あたり100万バレルの追加削減が価格を支えました。しかしながら、中国の成長鈍化、米ドルの強含みにより、年後半には勢いが衰えました。世界的な供給過剰が価格を押し下げOPECプラスによる減産の延長の議論がなされました。ブレント原油価格は一時60米ドルを下回りました。天然ガス価格は穏やかな冬の影響で一時2.00米ドル/MMBtuの安値を記録しましたが、年末には季節的な需要により4.00米ドルまで上昇しました。

貴金属、特に金は輝きを放ち、その安全資産としての評価から、2,800米ドル/オンスという過去最高値を記録しました。一方、銅やアルミニウムといった産業用金属は、中国の需要減退の影響を受けました。

農業セクターでは、極端な気象条件が価格に影響を与えました。カカオ価格は1トンあたり12,000米ドルを超え、コーヒー価格も大幅に上昇しました。一方、小麦や大豆といった穀物は豊作の影響で大きな変動が見られました。

外国為替市場では、米ドルが力強いスタートを切り、G10通貨全体が一時的に上昇しました。これは、米連邦準備制度理事会（FRB）の後々の利下げを市場が織り込んだ結果でした。しかし、実際の利下げと不確実性の増大に伴い、米ドルは下落しましたが、トランプ氏の再選とインフレ懸念によって再び反転しました。日本円は34年ぶりの安値に達し、日本銀行（BoJ）は長く待ち望まれていた金利政策の転換を行いました。欧州中央銀行（ECB）は4回目の利下げを実施し、預金金利を3%に引き下げたことでユーロがさらに弱まり、米国大統領選挙後にはユーロが1ドルをわずかに超える水準で取引されました。

一方、英ポンドは回復の兆しを見せ、経済回復とイングランド銀行（BoE）の慎重な金融政策によって支えられました。

■ ポートフォリオについて

＜当サブファンド＞

当サブファンドは、マスターファンドへの投資によって当該マスターファンドと同一の投資目的を追求しました。結果、マスターファンドへの投資比率は、概ね95%以上を維持しました。

＜マスターファンド＞

マスターファンドは、アンダーライング・マスターファンドへの投資によって当該アンダーライング・マスターファンドと同一の投資目的を追求しました。

＜アンダーライング・マスターファンド＞

アンダーライング・マスターファンドは、主に世界各国の取引所に上場されている様々な先物取引等に投資しました。トレンドフォロー戦略を中心としたマネージドフューチャーズ（グリーン戦略）により、下記8つのセクターに分散投資しました。

【株価指数】 【債券】 【通貨】 【金利】 【金属】 【穀物】 【農作物】 【エネルギー】
当ファンドが採用するマネージドフューチャーズ戦略は、中長期トレンドに追随するトレンドフォロー戦略を中核として、約150の様々な指数を投資対象としております。当ファンドの戦略は、2022年に始まった米国の金利引き下げの影響により、大きくパフォーマンスを落としてから、米国利下げの終焉以降も底這いのような推移が続き、回復に至っておりません。一方で、2023年12月に2,135ドルを高値としていた金価格は、2024年の11月には2,790ドルの高値を付けました。また円ベースでは、2024年10月末には15,162円の高値を付ける値動きとなりました。

■ ベンチマークとの差異について

当サブファンドにはベンチマーク及び参考指数はありません。

■ 分配金について

当サブファンドには分配金はありません。

今後の運用方針

今後の運用方針については、これまでの投資方針が引き続き採用され、マスターファンドへの投資を通じてアンダーライニング・マスターファンドと同一の投資目的を追求する予定です。

お知らせ

特にありません。

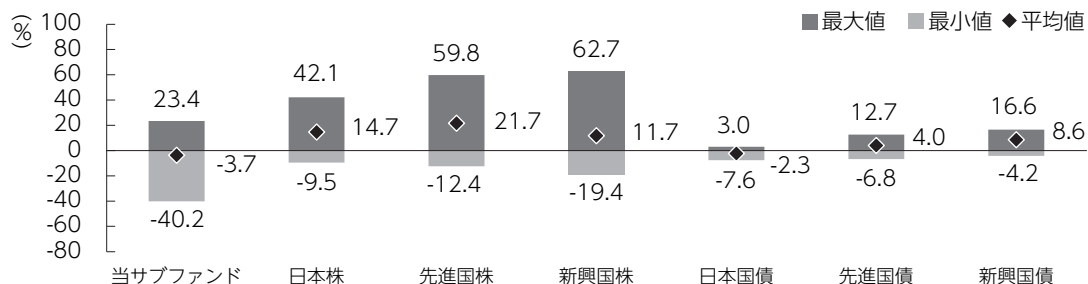
当サブファンドの概要

ファンド形態	ケイマン籍 オープンエンド契約型外国投資信託（円建て、米ドル建て）	
信託期間	信託設定日は2009年6月5日、償還日は設定日から150年後	
運用方針	マスターファンド投資顧問会社が随時選定するテクニカル分析ソフトウェアを使用したトレーディング・シグナルに基づいて投資活動を行います。 マスターファンド及びアンダーライニング・マスターファンドは、投資機会を活かし、最新のトレーディング戦略を利用する予定であるため、将来の運用について、現時点で既定されたものではなく、またいかなる制限を受けるものでもありません。マスターファンド投資顧問会社は、アンダーライニング・マスターファンドが上場先物及び店頭デリバティブ（外国為替取引を含みます。）の取引においてレバレッジを用いることにより高い収益が見込めると判断したときに、レバレッジを利用することができます。	
主要投資対象	当サブファンド	スーパーファンド・グリーン・ゴールドSPC及びスーパーファンド・グリーンSPC
	マスターファンド	スーパーファンド・グリーン・ゴールド・マスターSPC、スーパーファンド・グリーン・マスター、現金及び銀先物
	アンダーライニング・マスターファンド	世界各国の取引所に上場されている様々な先物取引（株価指数、債券、通貨、金利、金属、穀物、農作物、エネルギー）への分散投資、及び金先物
組入制限	当ファンドのサブファンド「グリーン」の円・クラス、米ドル・クラス、シルバー円・クラス、シルバー米ドル・クラス資産はすべてスーパーファンド・グリーンSPCのシェア（株式）に、ゴールド円・クラス及びゴールド米ドル・クラス資産はすべてスーパーファンド・グリーン・ゴールドSPCのシェア（株式）に、サブファンド「グリーンC」の円・クラス及び米ドル・クラス資産はすべてスーパーファンド・グリーンSPCのシェア（株式）に投資されます。	
分配方針	現段階では分配を行う予定はありません。但し、管理会社はその裁量で分配を決定する権利を留保しています。	

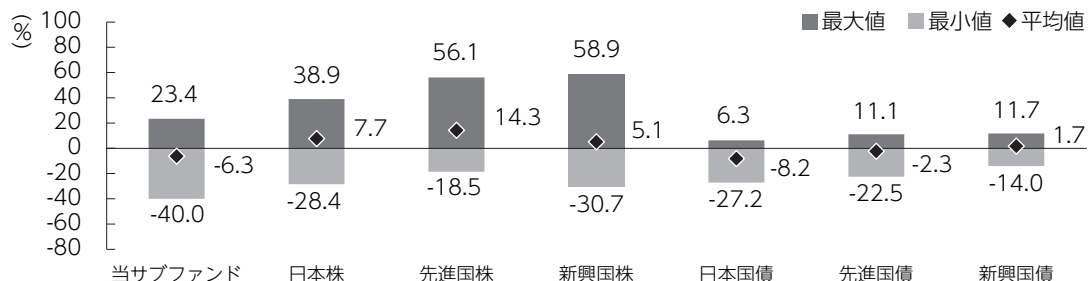
(参考情報)

ファンドと他の代表的な資産クラスとの騰落率の比較

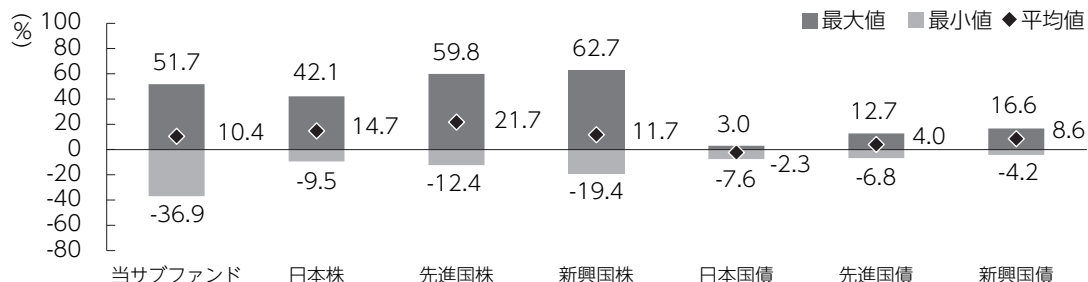
サブファンド・グリーン 円・クラス



サブファンド・グリーン 米ドル・クラス



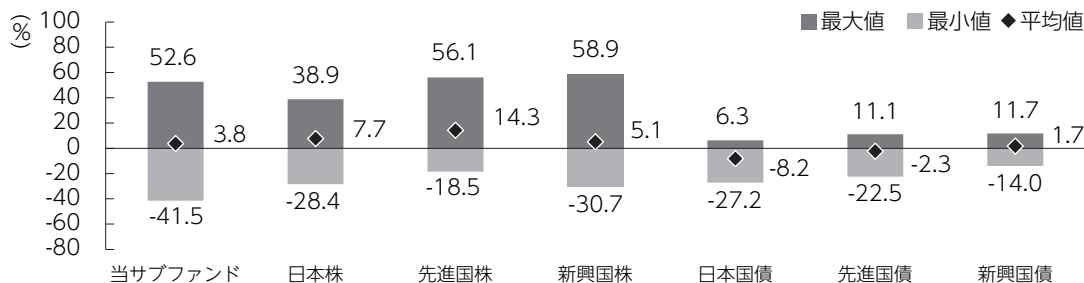
サブファンド・グリーン ゴールド円・クラス



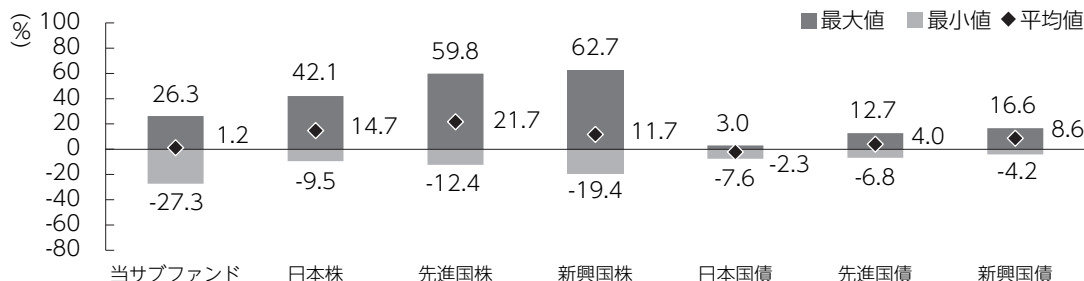
(注1) すべての資産クラスがファンドの投資対象とは限りません。

(注2) 2020年1月から2024年12月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値をファンド及びほかの代表的な資産クラスについて表示したものです。

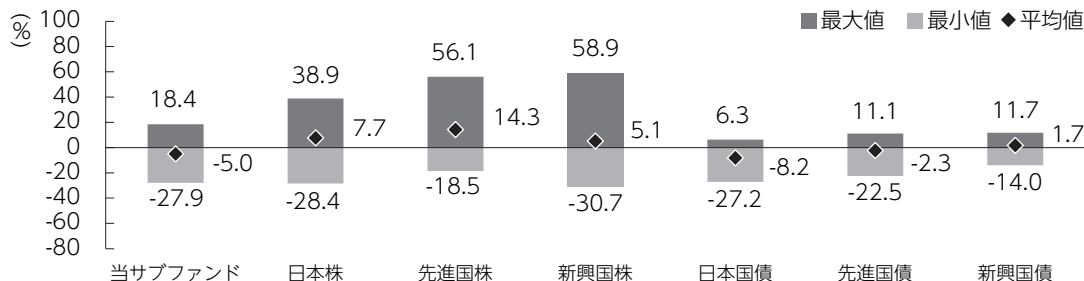
サブファンド・グリーン ゴールド米ドル・クラス



サブファンド・グリーン シルバー円・クラス



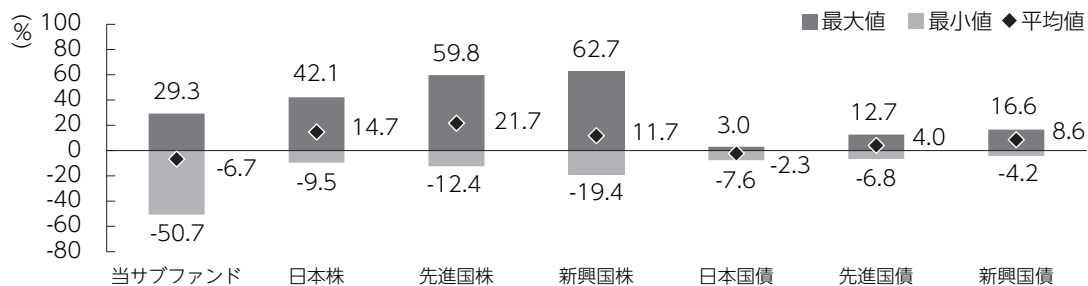
サブファンド・グリーン シルバー米ドル・クラス



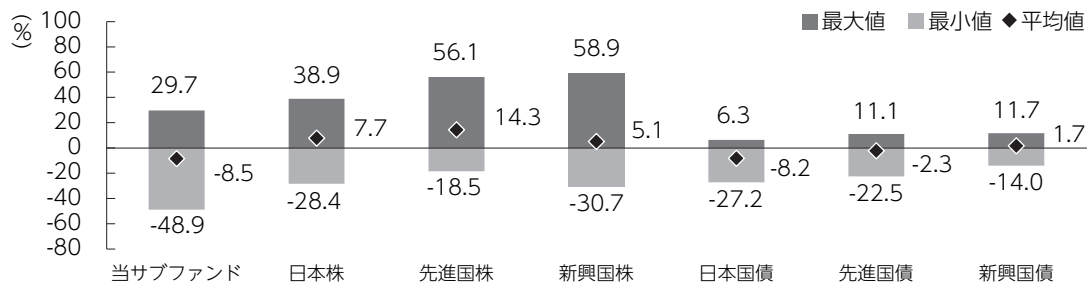
(注 1) すべての資産クラスがファンドの投資対象とは限りません。

(注 2) 2020年1月から2024年12月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値をファンド及びほかの代表的な資産クラスについて表示したものです。

サブファンド・グリーンC 円・クラス



サブファンド・グリーンC 米ドル・クラス



(注1) すべての資産クラスがファンドの投資対象とは限りません。

(注2) 2020年1月から2024年12月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値をファンド及びほかの代表的な資産クラスについて表示したものです。

○各資産クラスの指数

円・クラス／ゴールド円・クラス／シルバー円・クラス

日 本 株……東証株価指数 (TOPIX) (配当込)

先進国株……MSCI-KOKUSAI指数 (配当込) (円ベース)

新興国株……MSCIエマージング・マーケット・インデックス (配当込) (円ベース)

日本国債……JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス (日本) (円ベース)

先進国債……JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス (除く日本) (円ベース)

新興国債……JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット・グローバル・ディバーシファイド

※新興国債の指数は、各月末時点の為替レートにより円換算しています。

米ドル・クラス／ゴールド米ドル・クラス／シルバー米ドル・クラス

日 本 株……東証株価指数 (TOPIX) (配当込)

先進国株……MSCI-KOKUSAI指数 (配当込) (米ドルベース)

新興国株……MSCIエマージング・マーケット・インデックス (配当込) (米ドルベース)

日本国債……JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス (日本) (米ドルベース)

先進国債……JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス (除く日本) (米ドルベース)

新興国債……JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット・グローバル・ディバーシファイド (米ドルベース)

※日本株の指数は、各月末時点の為替レートにより米ドル換算しています。

ファンドデータ

■ 当サブファンドの組入資産の内容 (2024年12月31日現在)

■ サブファンド・グリーン

【組入ファンド】 (組入銘柄数：2 銘柄)

資 産 の 種 類	組 入 比 率
スーパーファンド・グリーン・ゴールドSPCの株式（クラスBジャパン（円）及びクラスBジャパン（米ドル） 株式） （以下、本ページにおいて「グリーン・ゴールドSPCの株式」と表記）	61.76%
スーパーファンド・グリーンSPCの株式（クラスジャパン（円） 株式、クラスジャパン（米ドル） 株式、クラスシルバー（米ドル） 株式及びクラスシルバー（円） 株式） （以下、本ページにおいて「グリーンSPCの株式」と表記）	38.02%
現金、受取債権及びその他資産	0.22%

(注) 組入比率は、各クラスが各々対応するマスターファンドに高位に投資しておりますが、クラス毎の計算書類は存在しないため、サブファンドの財務書類の記載に基づき記載しています。以下グラフも同様です。



(注) 通貨別配分につき、通貨ヘッジはしておりません。

■ 純資産等 (2024年12月31日現在)

項 目	第 16 期 末
純 資 産 総 額	2,141,150,696円
発 行 済 口 数	22,113,497口
1 口当たり純資産価額	96.83円

(注1) 純資産総額及び発行済口数は、当サブファンドの財務書類の記載によります。

(注2) 為替レート 1 米ドル=145.82円 (2025年 5 月 9 日現在)

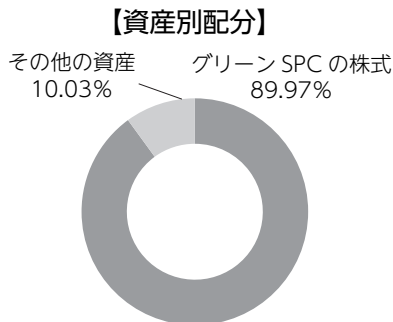
(注3) 当期中における追加設定元本額33,470,000円、一部解約元本額は132,691,750円です。

サブファンド・グリーンC

【組入ファンド】（組入銘柄数：1 銘柄）

資 産 の 種 類	組 入 比 率
スーパーファンド・グリーンSPCの株式（クラスCジャパン（円）株式及びクラスCジャパン（米ドル）株式） （以下、本ページにおいて「グリーンSPCの株式」と表記）	89.97%
現金、受取債権及びその他資産	10.03%

（注）組入比率は純資産総額に対する各組入資産の評価額の割合です。以下円グラフも同様です。



（注）通貨別配分につき、通貨ヘッジはしておりません。

■ 純資産等（2024年12月31日現在）

項 目	第 16 期 末
純 資 産 総 額	120,333,695円
発 行 済 口 数	2,802,697口
1 口当たり純資産価額	42.93円

（注1）純資産総額及び発行済口数は、当サブファンドの財務書類の記載によります。

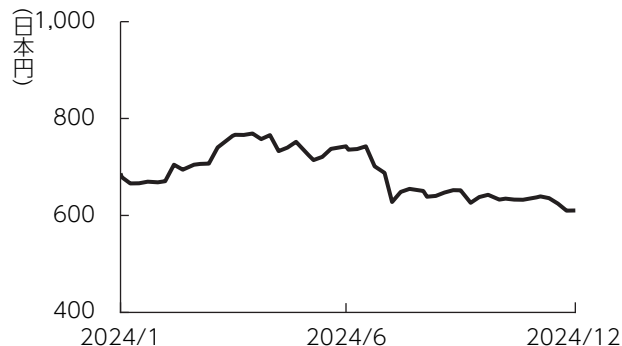
（注2）為替レート 1 米ドル＝145.82円（2025年 5 月 9 日現在）

（注3）当期中における一部解約元本額は20,068,635円です。

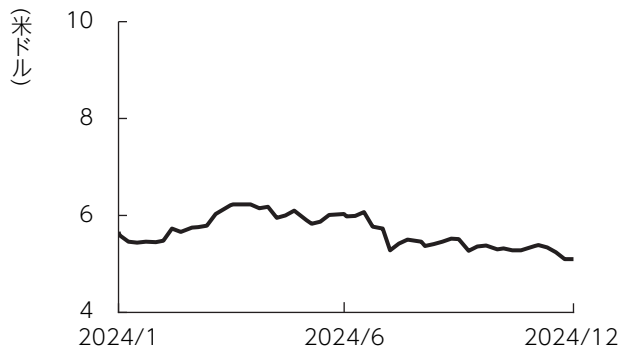
■ 投資先ファンドの概要 (2024年1月1日～2024年12月31日)

■ スーパーファンド・グリーンSPC (マスターファンド) 分別ポートフォリオB

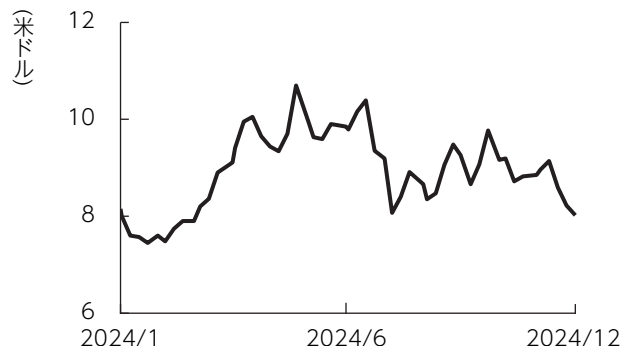
【クラスジャパン (円) の1口当たり純資産価額の推移】



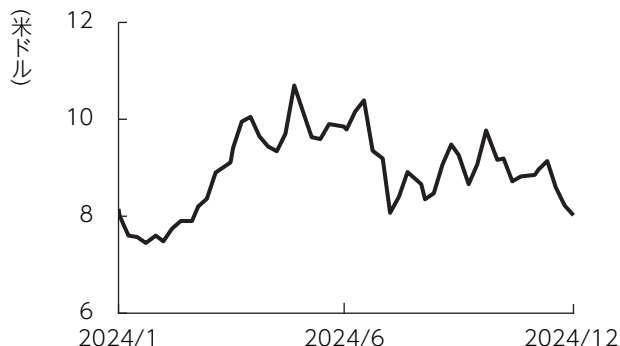
【クラスジャパン (米ドル) の1口当たり純資産価額の推移】



【クラスシルバー (円) の1口当たり純資産価額の推移】



【クラスシルバー (米ドル) の1口当たり純資産価額の推移】



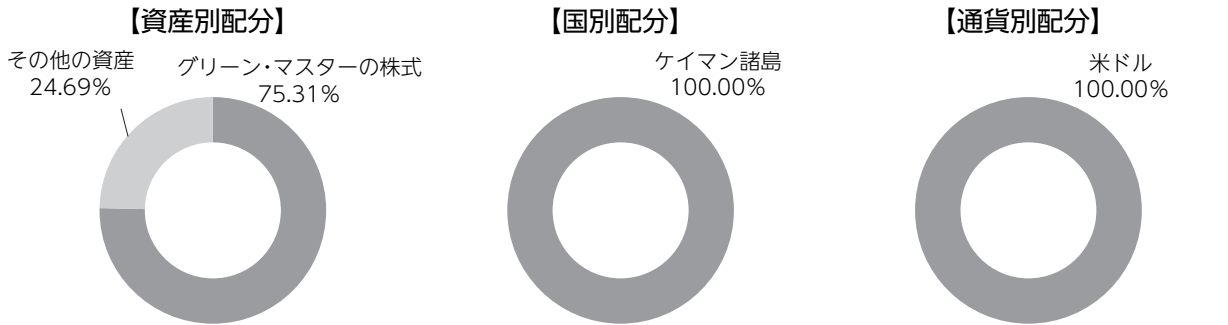
【保有銘柄情報】 (組入銘柄数：1銘柄)

資産の種類	組入比率
スーパーファンド・グリーン・マスターの株式 (以下「グリーン・マスターの株式」と表記)	75.31%
現金、受取債権及びその他の資産	24.69%

【費用の明細】（2024年1月1日～2024年12月31日）

項 目	項 目 の 概 要	
管 理 報 酬	分別ポートフォリオB・クラスジャパン（円）、クラスジャパン（米ドル）、クラスシルバー（円）及びクラスシルバー（米ドル）株式の純資産価額の年率2.00%	
成 功 報 酬	分別ポートフォリオB・クラスジャパン（円）、クラスジャパン（米ドル）、クラスシルバー（円）及びクラスシルバー（米ドル）株式の純資産価額の増加額のうち毎月20%（銀価格の上昇のみに起因する価額増加を排除したハイウォーターマーク方式を適用）	
販 売 会 社 報 酬	販売会社が申込を取り扱った受益証券の純資産価額の年率1.8%	
事 務 管 理 報 酬	事 務 管 理 報 酬	分別ポートフォリオBにつき年間5,400米ドル
	年次財務諸表の作成	スーパーファンド・グリーンSPCにつき年間1,500米ドル
その他の費用(当期)	監査費用、保管費用、その他信託事務の処理に要する諸費用 0.51%	

（注）各報酬については、当サブファンドの目論見書に定められている料率を記しています。「その他の費用（当期）」には運用状況等により変動するものや実費となる費用が含まれます。便宜上、上記期間のその他の費用の金額を投資先ファンドの上記期間末の純資産総額で除して100を乗じた比率を表示していますが、実際の比率とは異なります。

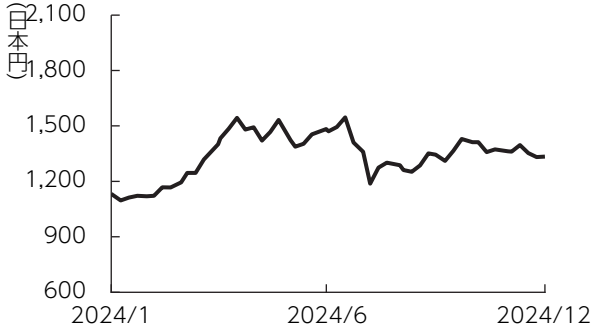


（2024年12月31日現在）

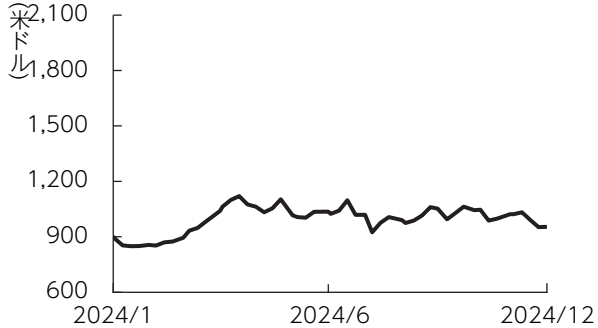
（注）通貨別配分につき、通貨ヘッジはしておりません。

スーパーファンド・グリーン・ゴールドSPC（マスターファンド）分別ポートフォリオB

【クラスB ジャパン (円) の1口当たり純資産価額の推移】



【クラスB ジャパン (米ドル) の1口当たり純資産価額の推移】



【保有銘柄情報】（組入銘柄数：1銘柄）

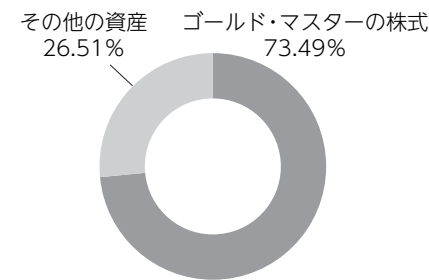
資産の種類	組入比率
スーパーファンド・グリーン・ゴールド・マスターSPCの株式（以下「ゴールド・マスターの株式」と表記）	73.49%
現金、受取債権及びその他の資産	26.51%

【費用の明細】（2024年1月1日～2024年12月31日）

項目	項目の概要
管 理 報 酬	分別ポートフォリオB・クラスBジャパン（円）株式及びクラスBジャパン（米ドル）株式の純資産価額の年率2.00%
成 功 報 酬	分別ポートフォリオB・クラスBジャパン（円）株式及びクラスBジャパン（米ドル）株式の純資産価額の増加額のうち毎月20%（但し、ハイウォーターマーク方式を適用）
販 売 会 社 報 酬	販売会社が申込を取り扱った受益証券の純資産価額の年率1.8%
事 務 管 理 報 酬	事 務 管 理 報 酬 分別ポートフォリオBにつき年間5,700米ドル 年次財務諸表の作成 スーパーファンド・グリーン・ゴールドSPCにつき年間1,500米ドル
その他の費用(当期)	監査費用、保管費用、その他信託事務の処理に要する諸費用 0.26%

（注）各報酬については、当サブファンドの目論見書に定められている料率を記しています。「その他の費用（当期）」には運用状況等により変動するものや実費となる費用が含まれます。便宜上、上記期間のその他の費用の金額を投資先ファンドの上記期間末の純資産総額で除して100を乗じた比率を表示していますが、実際の比率とは異なります。

【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



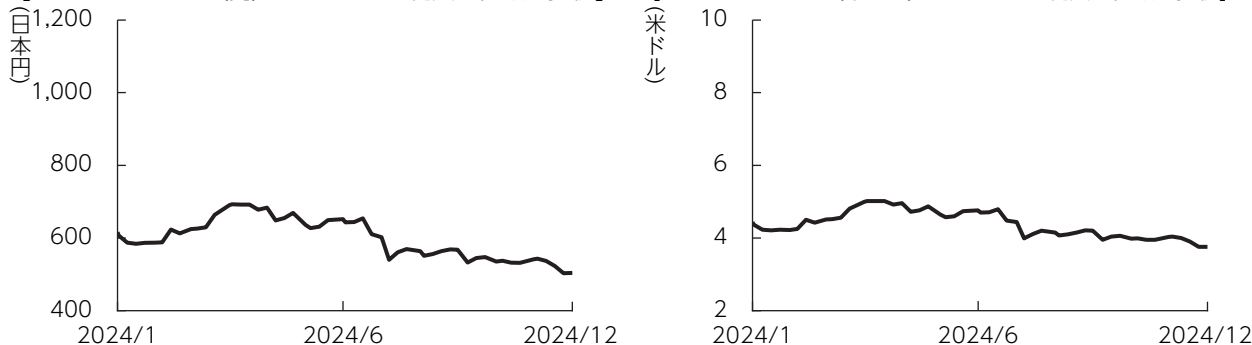
（2024年12月31日現在）

（注）通貨別配分につき、通貨ヘッジはしていません。

スーパーファンド・グリーンSPC（マスターファンド） 分別ポートフォリオC

【クラスCジャパン（円）の1口当たり純資産価額の推移】

【クラスCジャパン（米ドル）の1口当たり純資産価額の推移】



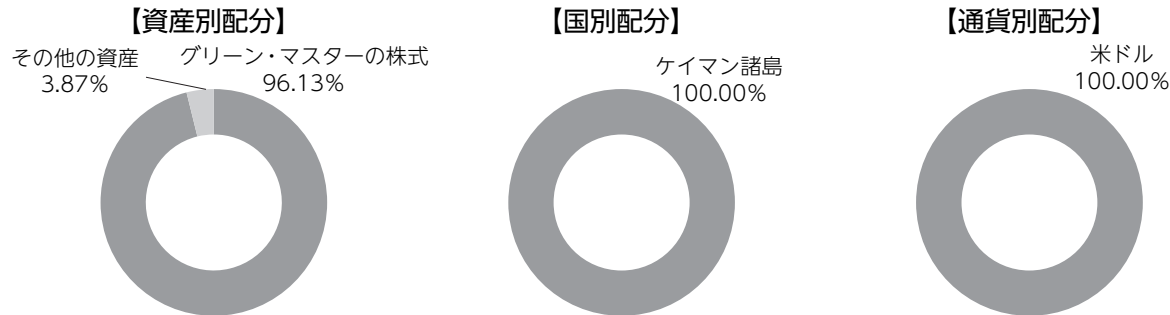
【保有銘柄情報】（組入銘柄数：1 銘柄）

資 産 の 種 類	組入比率
グリーン・マスターの株式	96.13%
現金、受取債権及びその他の資産	3.87%

【費用の明細】（2024年1月1日～2024年12月31日）

項 目	項 目 の 概 要
管 理 報 酬	分別ポートフォリオC・クラスCジャパン（円）及びクラスCジャパン（米ドル）株式の純資産価額の年率2.00%
成 功 報 酬	分別ポートフォリオC・クラスCジャパン（円）及びクラスCジャパン（米ドル）株式の純資産価額の増加額のうち毎月20%（但し、ハイウォーターマーク方式を適用）
販 売 会 社 報 酬	販売会社が申込を取り扱った受益証券の純資産価額の年率1.8%
事 務 管 理 報 酬	事 務 管 理 報 酬 分別ポートフォリオCにつき年間5,400米ドル 年次財務諸表の作成 スーパーファンド・グリーンSPCにつき年間1,500米ドル
その他の費用(当期)	監査費用、保管費用、その他信託事務の処理に要する諸費用 1.47%

（注）各報酬については、当サブファンドの目論見書に定められている料率を記しています。「その他の費用（当期）」には運用状況等により変動するものや実費となる費用が含まれます。便宜上、上記期間のその他の費用の金額を投資先ファンドの上記期間末の純資産総額で除して100を乗じた比率を表示していますが、実際の比率とは異なります。



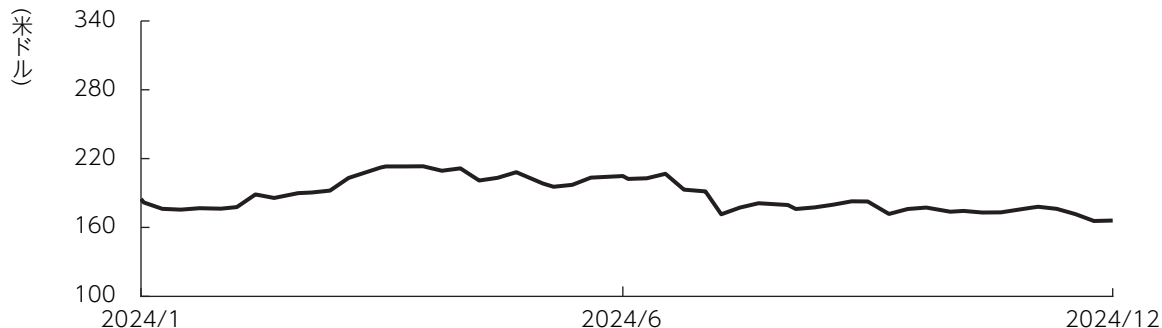
（注）通貨別配分につき、通貨ヘッジはしていません。

（2024年12月31日現在）

■ 投資先ファンドの概要 (2024年1月1日～2024年12月31日)

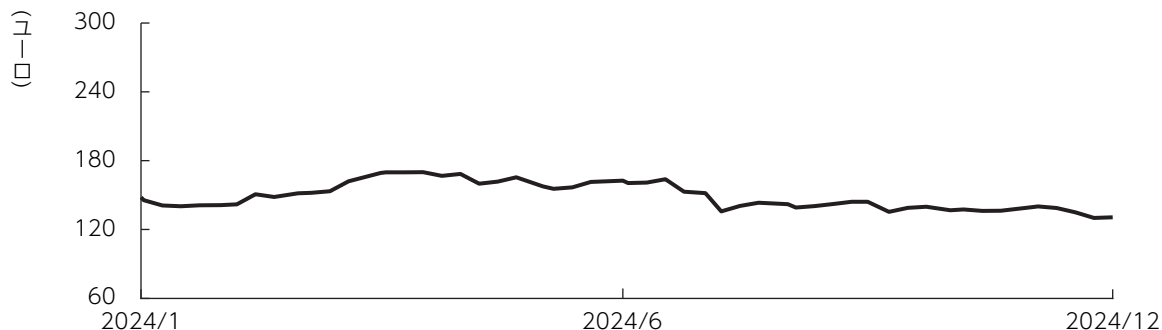
■ スーパーファンド・グリーン・マスター (アンダーライング・マスターファンド) クラスB

【1口当たり純資産価額の推移】



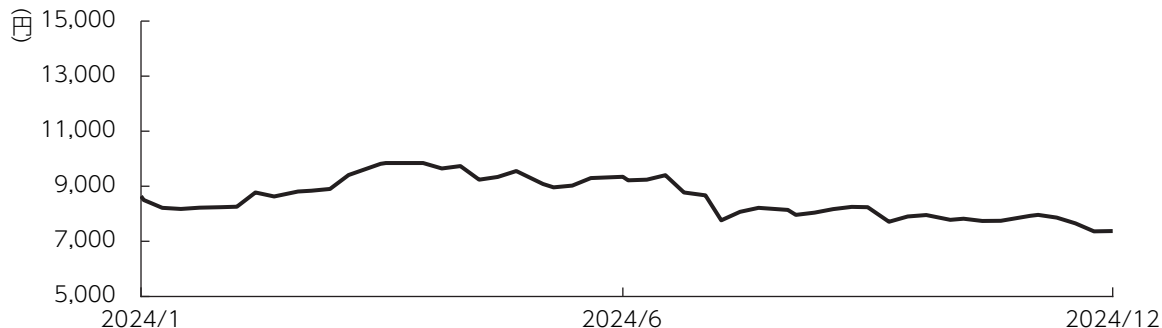
■ スーパーファンド・グリーン・マスター (アンダーライング・マスターファンド) クラスC

【1口当たり純資産価額の推移】



■ スーパーファンド・グリーン・マスター (アンダーライング・マスターファンド) クラスE

【1口当たり純資産価額の推移】



【費用の明細】

(2024年1月1日～2024年12月31日)

項 目		項 目 の 概 要
事 務 管 理 報 酬	事 務 管 理 報 酬	純資産の4.2ベースポイント／年間0.042％ (毎月4.2ベースポイントの12分の1) 但し、各ファンドにつき最低毎月1,500米ドル ファンドの純資産の50百万米ドルを超える部分：2.45ベースポイント ファンドの純資産の100百万米ドルを超える部分：0.7ベースポイント
	年次財務諸表の作成	スーパーファンド・グリーン・マスターにつき年間1,500米ドル
その他の費用(当期)	信託事務の処理に要する諸費用 0.54％	

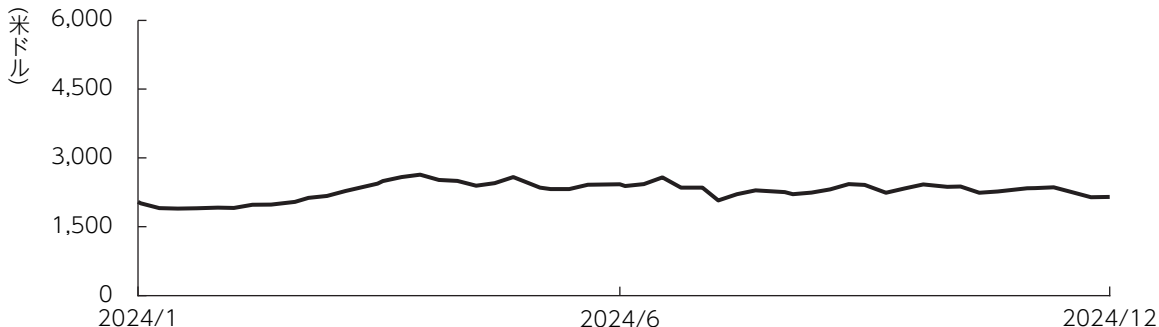
(注) 各報酬については、当サブファンドの目論見書に定められている料率又は金額を記しています。「その他の費用(当期)」には運用状況等により変動するものや実費となる費用が含まれます。便宜上、上記期間の費用の金額を投資先ファンドの上記期間末の純資産総額で除して100を乗じた比率を表示していますが、実際の比率とは異なります。

【保有銘柄情報】、【資産別配分】、【国別配分】及び【通貨別配分】については、アンダーライニング・マスターファンドが、世界の主要先物市場における先物を中心に運用しており、オン・バランス資産のほとんどは証拠金であり、その配分は随時変動していることから、一定の時点におけるこれらの情報を開示することに大きな意味がないため、開示しておりません。

(2024年12月31日現在)

スーパーファンド・グリーン・ゴールド・マスターSPC（アンダーライング・マスターファンド）

【1口当たり純資産価額の推移】



【費用の明細】

(2024年1月1日～2024年12月31日)

項 目	項 目 の 概 要	
事 務 管 理 報 酬	事 務 管 理 報 酬	純資産の4.2ベースポイント／年間0.042% (毎月4.2ベースポイントの12分の1) 但し、各ファンドにつき最低毎月1,375米ドル ファンドの純資産の50百万米ドルを超える部分：2.45ベースポイント ファンドの純資産の100百万米ドルを超える部分：0.7ベースポイント
	年次財務諸表の作成	スーパーファンド・グリーン・ゴールド・マスターSPCにつき年間1,500米ドル
その他の費用(当期)	信託事務の処理に要する諸費用 0.30%	

(注) 各報酬については、当サブファンドの目論見書に定められている料率又は金額を記しています。「その他の費用」には運用状況等により変動するものや実費となる費用が含まれます。便宜上、上記期間のその他の費用の金額を投資先ファンドの上記期間末の純資産総額で除して100を乗じた比率を表示していますが、実際の比率とは異なります。

【保有銘柄情報】、【資産別配分】、【国別配分】及び【通貨別配分】については、アンダーライング・マスターファンドが、世界の主要先物市場における先物を中心に運用しており、オン・バランス資産のほとんどは証拠金であり、その配分は随時変動していることから、一定の時点におけるこれらの情報を開示することに大きな意味がないため、開示しておりません。

(2024年12月31日現在)